2026年度　第2回

にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会

第13回 新潟県災害リハビリテーション研修会

～災害時の食支援を考える～

～いのちをつなぐ「食べる」を、今、備える～

日　時　2026年12月5日(土)　13:00-17:00（12:30 受付開始）

場　所　新潟大学医学部有壬記念館（〒951-8510 新潟市中央区旭町通1-757）
Zoomによる配信のハイブリッド開催

参加費 参加方法　にいがた摂食嚥下障害サポート研究会会員，新潟JRAT会員　無料；その他の方　3,000円
すべての参加希望者は，下記QRコードまたはURLからお申し込み下さい

https://forms.gle/p4mNrdMyJBQXJYNJA

申込締切 11月28日(土)

現地参加 先着150名まで

タイムスケジュール

12:30	受付開始	
13:00	開会挨拶	
13:05	開業医報告　研究会紹介　企業紹介	
13:55	シンポジウム「災害時の食支援を考える」	
13:55	主旨説明	
14:00	RCAで紐解く避難所における誤嚥性肺炎の予防 ～「食べる」を守る備え～	高橋　昌先生 新潟大学大学院医歯保健学研究科災害医学・医療人育成分野 特任教授，医師
14:20	災害時における栄養・食生活支援活動について	磯部澄枝先生 新潟県十日町地域振興局健康福祉部（十日町保健所）地域保健課，課長代理
14:40	令和6年能登半島地震における災害歯科支援 ～石川県歯科医師会災害対策本部としての活動を通して見えてきたこと～	佐藤　修先生 一般社団法人石川県歯科医師会副会長，歯科医師
15:00	大規模災害時の口腔管理と食支援 ～令和6年能登半島地震の想定外を振り返る～	長谷剛志先生 公立能登総合病院 歯科口腔外科部長，歯科医師
15:20	休憩	
15:30	災害時食の要配慮者のために何ができるか	別府　茂先生 日本防災士会・新潟県支部，顧問
15:50	避難所で求められる『食べる』支援	本間　栞先生 NPO法人ｷｬﾘｰｸﾞﾚｰｽ　SMiDﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽふう，言語聴覚士
16:10	災害時に必要な「食」は備えられているのか ～病院・高齢者施設の備蓄実態と声から考える～	吉田忠浩先生 ホリカフーズ株式会社 営業部
16:30	総合討論	
17:00	閉会挨拶	
17:15	（希望者）ワンコインカフェ	

単位申請　各種単位申請予定；日本摂食嚥下リハビリテーション学会・日本歯科衛生士会

事務局　にいがた摂食嚥下障害サポート研究会事務局
〒951-8514 新潟市中央区学校町通2-5274; Email oral-reha@dent.niigata-u.ac.jp

主催　にいがた嚥下障害サポート研究会
共催　一般社団法人新潟県医師会/新潟県歯科医師会
新潟県災害リハビリテーション連絡協議会（新潟JRAT）
新潟大学 医歯保健学研究科/災害・復興科学研究所/フード＆ヘルスイノベーション共創センター
後援　新潟県，一般社団法人新潟県歯科衛生士会，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，
公益社団法人新潟県栄養士会，公益社団法人新潟県看護協会